

# From JPMA

## “くすり”を取り巻くさまざまな課題の改善に いっそうの注力を

2013年は、社会保障制度の持続やライフサイエンス産業のさらなる振興のために、官民一体となって具体的な成果が求められる1年です。そういった中で、私たちは、革新的で有用性の高い医薬品の開発と製薬産業の健全な発展を通して、日本および世界の人々の健康と福祉の向上にますます貢献していくことを目指します。そのために、“くすり”を取り巻くさまざまな課題の改善にいっそう注力するとともに、これまでの取り組みをさらに進化させていきたいと考えています。

(2月20日 大阪記者懇談会より)



日本製薬工業協会  
会長 手代木 功

### 日本製薬工業協会(製薬協)

#### Japan Pharmaceutical Manufacturers Association (JPMA)

製薬協は、病院、診療所などの医療機関で使われる医療用医薬品の研究・開発を通じて世界の人々の健康と福祉の向上に貢献することをめざす、研究開発志向型の製薬会社が加盟する団体で、1968年に設立されました。

製薬協は、「患者参加型の医療の実現」に向けて、医薬品に対する理解を深めていただくための活動、ならびに製薬産業の健全な発展のための政策提言などをおこなっています。

製薬協は、国際製薬団体連合会(IFPMA)の加盟団体として世界の医療・医薬に関わる諸問題に対応し、各団体と連携を図りながら、グローバルな活動を展開しています。